

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 29 年 12 月 21 日 (2017.12.21)

【公表番号】特表 2017-533609 (P2017-533609A)
 【公表日】平成 29 年 11 月 9 日 (2017.11.9)
 【年通号数】公開・登録公報 2017-043
 【出願番号】特願 2017-511229 (P2017-511229)
 【国際特許分類】

H 0 4 Q 9/00 (2006.01)
 H 0 4 M 1/00 (2006.01)
 G 0 6 F 3/01 (2006.01)
 B 6 0 R 25/24 (2013.01)
 B 6 0 R 16/02 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 Q 9/00 3 3 1 A
 H 0 4 M 1/00 U
 G 0 6 F 3/01 5 7 0
 G 0 6 F 3/01 5 1 0
 B 6 0 R 25/24
 B 6 0 R 16/02 6 3 0 Z

【誤訳訂正書】
 【提出日】平成 29 年 10 月 27 日 (2017.10.27)
 【誤訳訂正 1】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 1 7
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【 0 0 1 7 】

更に記述される様に、表示されるコンテンツは、ビデオ、ゲーム、地図、ナビゲーション、移動体診断、カレンダー情報、気象情報、移動体 クライメート調節 (vehicle climate controls)、移動体娯楽制御、電子メール、インターネット・ブラウジング、または、情報が移動体 20 の内部及び / または外部から由来するかに関わらず、認識されたユーザに関連付けられた他の任意の対話式アプリケーションの如き、個人化された情報または娯楽コンテンツを含み得る。

【誤訳訂正 2】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 3 0
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【 0 0 3 0 】

幾つかの実施例において、演算デバイス 1000 は、移動体 20 に関する移動体機能を実施すべく構成されたウェアラブル演算デバイスであり得る。各移動体機能は、上述されたインストール済みアプリケーションにおいて実現され得る。以下において更に詳細に記述される如く、上記移動体機能としては、とりわけ、種々の遠隔制御機能 (図 2 3 A から図 2 3 F)、運転者得点機能 (図 2 4 B)、緊急モード (図 2 5 A から図 2 5 C)、ナビゲーション機能、オーディオ / ビデオ機能、クライメート調節機能、インターネット・アクセス機能、及び、移動体を制御する遠隔制御機能が挙げられる。上記遠隔制御機能としては、例えば、ロック解除、ロック (図 2 3 A における 2308)、フラッシュライト投入、フラッシュラ

イト切断(図23Aにおける2310)、警笛鳴動(図23Aにおける2312)、始動(図23Aにおける2302)、停止(図23Cにおける2306)、移動体の電源投入もしくは電源切断が挙げられる。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0038

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0038】

図22Aから図25Cに示された如く、移動体20に関して実施されるべき移動体機能は、種々の遠隔制御機能(図23Aから図23F)、運転者得点機能(図24B)、及び、緊急モード(図25Aから図25C)を含み得る。遠隔制御機能としては、例えば、ロック解除、ロック(図23Aにおける2308)、フラッシュライト投入、フラッシュライト切断(図23Aにおける2310)、警笛鳴動(図23Aにおける2312)、始動(図23Aにおける2302)、停止(図23Cにおける2306)、移動体の電源投入もしくは電源切断が挙げられる。他の移動体機能としては、例えば、ナビゲーション機能、オーディオ/ビデオ機能、クライメート調節機能、または、インターネット・アクセス機能が挙げられる。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0049

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0049】

ステップ2106においては、ユーザの好首尾な認証に基づき、移動体20に関する移動体機能が実施され得る。該移動体機能は、例えば、移動体20をロック解除もしくは電源投入するとの入力表示の如く、ステップ2102にて示されたものであり得る。図22Aから図25Cの例において示された如く、各移動体機能は、種々の遠隔制御機能、運転者得点機能、及び、緊急モードを含み得る。上記遠隔制御機能としては、例えば、移動体のロック解除、ロック、フラッシュライト投入、フラッシュライト切断、警笛鳴動、始動、停止、電源投入もしくは電源切断が挙げられる。上記移動体機能はまた、ナビゲーション機能、オーディオ/ビデオ機能、クライメート調節機能、または、インターネット・アクセス機能も含み得る。

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0052

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0052】

システム30は、既知ユーザのユーザ・プロフィールであって、個々のユーザに関連する識別情報を含むというユーザ・プロフィールを記憶し得る。例えば、ユーザ・プロフィールは、ユーザ識別サブシステム38により使用されてユーザを識別もしくは認証し得る骨格結合関係データまたは顔認識データを含み得る。ユーザ・プロフィールは付加的に、個人のカレンダー及び用事情報、航行/目的地の履歴、ウェブのブラウジング履歴、娯楽の嗜好性、クライメート(climate)の嗜好性などの如き、個人関心情報を含み得る。幾つかの変更例において、ユーザ・プロフィールに含まれる任意のまたは全ての情報は、ウェアラブル用品61、個人用電子デバイス63、遠隔サーバ、または、他のクラウド70に基づくシステム上に記憶され、または、それと共有され得る。ユーザ・プロフィールの斯かる外部での記憶もしくは共有によれば、ユーザにより所有された任意の付加的な移動体、レンタル移動体などの如き、他の移動体におけるユーザ・プロフィール・データの利用が促進され得る。斯かるユーザ・プロフィール・データは、クラウド70に基づくシステム上で作動するパスワード保護式

のアプリケーションを通してアクセス可能とされることにより、または、生体認証により、または、他の有効手段により、機密保護され得る。

【誤訳訂正 6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0074

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0074】

移動体ヘッド・ユニット300に対するシステム30の対話によれば、運転者及び／または乗客は、他の移動体乗客及び／または運転者に対するコンテンツを選択することも許容される。例えば、乗客の内のひとは、移動体が移動しているとき、目的地を選択して、運転者のためにナビゲーション・システム上に表示し得る。別の例において、運転者は、子供の乗客に対する表示のために、娯楽コンテンツを選択し得る。更に別の例において、乗客は、移動体ヘッド・ユニット300により制御されるインフォテインメントまたはクライメート調節の特徴を制御し得る。

【誤訳訂正 7】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ユーザからの手動入力を受信すべく構成された少なくとも一つの入力デバイスを備えるウェアラブル用品であって、前記手動入力に応じて移動体機能の遠隔制御のための命令を送信すべく構成されたウェアラブル用品と、

ユーザ認識／認証サブシステムであって、

前記ユーザが移動体から離間した外部の第1位置にいるとき、及び、前記ユーザが前記ウェアラブル用品を装着しているときを当該ユーザ認識／識別サブシステムが検出する第1の認証要因に基づいて、第1に、ユーザを予備認証し、

前記ユーザが、前記移動体から離間した外部の第2位置であって、前記第1位置よりも該移動体に近い第2位置にいるときを当該ユーザ認識／識別サブシステムが検出する第2の認証要因に基づいて、第2に、前記ユーザを認証する、

ように構成されたユーザ認識／認証サブシステムと、

前記予備認証に応じた移動体ウィンドウ上での表示のための第1出力を生成すべく、且つ、前記認証に応じた前記移動体ウィンドウ上での表示のための第2出力であって、少なくとも部分的に、ユーザ・プロフィール中に記憶された個人情報に基づく第2出力を生成すべく構成された対話式表示サブシステムと、

前記移動体機能の遠隔制御のための命令を受信すべく、また、前記ユーザが予備認証かつ認証されているなら、該命令を実行すべく構成された制御サブシステムと、

を備える、移動体を操作するシステム。

【請求項 2】

前記ウェアラブル用品は、スマート・ウォッチ、パーソナル携帯デバイス、スマート衣料用品、経皮的チップ、ウェアラブル・センサ、または、スマートグラス用品の内の少なくとも一つを備える、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記ウェアラブル用品は、移動体に関する少なくとも一つの移動体機能を実施すべく構成されたウェアラブル演算デバイスを備える、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記少なくとも一つの移動体機能は、遠隔制御機能、運転者得点機能、緊急モード機能、ナビゲーション機能、オーディオもしくはビデオ機能、クライメート調節機能、または

、インターネット・アクセス機能の内の少なくとも一つである、請求項 3 に記載のシステム。

【請求項 5】

前記遠隔制御機能は、前記移動体のロック解除、ロック、フラッシュライト投入、フラッシュライト切断、警笛鳴動、始動、停止、電源投入、または、電源切断の内の一つである、請求項 4 に記載のシステム。

【請求項 6】

前記ユーザ認識 / 認証サブシステムは、前記ユーザによる少なくとも一つの身振り入力を検出するべく構成されたセンサを備える、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 7】

前記ユーザは、実施されるべき移動体機能を表す前記ウェアラブル用品から受信された第1入力と、前記移動体または前記ウェアラブル用品に関連付けられた前記センサにより検出された第2入力とに基づいて認証される、請求項 6 に記載のシステム。

【請求項 8】

前記センサは更に、前記ユーザが前記ウェアラブル用品を装着しているか否かを検出するべく構成され、

前記ユーザは、前記移動体の所定範囲内で検出された該ユーザによる少なくとも一つの身振り入力に基づいて認証される、請求項 6 に記載のシステム。

【請求項 9】

前記ユーザが前記ウェアラブル用品から前記少なくとも一つの移動体機能を制御することを可能とすべく構成された制御サブシステムを更に備える、請求項 3 に記載のシステム。

【請求項 10】

前記制御サブシステムは更に、

前記移動体に関して前記ユーザにより実施された一つ以上の移動体機能に関連付けられた少なくとも一つの運転者動作に対して運転者得点を生成するべく、また、

前記運転者得点を前記ウェアラブル用品に対して送信するべく、

構成される、請求項 9 に記載のシステム。

【請求項 11】

ユーザがウェアラブル用品を装着しているか否かを決定するセンサと、

前記ユーザから命令入力を受信する入力デバイスであって、前記センサと同延であるか、もしくは、それとは別個である入力デバイスと、

移動体のユーザ認識 / 認証サブシステムに対して信号を送信するべく構成された送信器であって、

前記信号は、当該ウェアラブル用品が、ユーザにより装着され、且つ、前記移動体から離間した外部の位置にいることを表し、

前記ユーザ認識 / 認証サブシステムは、

前記ユーザが前記移動体から離間した外部の第1位置にいるとき、及び、前記ユーザが前記ウェアラブル用品を装着しているときを当該ユーザ認識 / 識別サブシステムが検出する第1の認証要因に基づいて、第 1 に、ユーザを予備認証し、

前記ユーザが、前記移動体から離間した外部の第2位置であって、前記第1位置よりも該移動体に近い第2位置にいるときを当該ユーザ認識 / 識別サブシステムが検出する第2の認証要因に基づいて、第 2 に、前記ユーザを認証する、

ように構成される、

という送信器と、

一つ以上のプロセッサと、

データ、及び、前記一つ以上のプロセッサにより実行されるプログラム命令を記憶するメモリと、

を備える、移動体のユーザの遠隔的認証のためのウェアラブル用品であって、

前記一つ以上のプロセッサは、前記メモリ内に記憶された命令を実行することで、

移動体に関して実施されるべき移動体機能を表すものとして前記命令入力を解釈すべく、ユーザからの第1入力を受信し、

認証のための前記ユーザによる身振りを表す第2入力を前記センサから受信し、前記ユーザが予備認証かつ認証されているなら、前記移動体機能を実施する制御信号を生成する、

ように構成される、ウェアラブル用品。

【請求項 1 2】

前記移動体機能は、遠隔制御機能、運転者得点機能、緊急モード機能、ナビゲーション機能、オーディオもしくはビデオ機能、クライメート調節機能、または、インターネット・アクセス機能の内の一つである、請求項 1 1 に記載のウェアラブル用品。

【請求項 1 3】

前記遠隔制御機能は、前記移動体のロック解除、ロック、フラッシュライト投入、フラッシュライト切断、警笛鳴動、始動、停止、電源投入、または、電源切断の内の一つである、請求項 1 2 に記載のウェアラブル用品。

【請求項 1 4】

前記ユーザによる身振りを検出すべく、且つ、該身振りに基づいて前記第2入力を生成すべく構成されたセンサを更に備える、請求項 1 1 に記載のウェアラブル用品。

【請求項 1 5】

前記一つ以上のプロセッサは更に、前記メモリ内に記憶された命令を実行することで、前記移動体に関して前記ユーザにより実施された一つ以上の移動体機能に関連付けられた少なくとも一つの運転者動作に対して生成された運転者得点を受信する、ように構成される、請求項 1 1 に記載のウェアラブル用品。

【請求項 1 6】

ウェアラブル用品に関連付けられたセンサを用いて、ユーザが移動体の近傍にいて且つ該ウェアラブル用品を装着していることを決定する段階と、

前記ユーザが、前記移動体から離間した外部の第1位置にいるときに受信された第1の認証要因に基づき、前記ユーザを予備認証する段階と、

前記予備認証に応じて、前記移動体のウィンドウ上に、前記第1位置から視認可能であるべく構成された表示内容を生成する段階と、

前記予備認証の実行後に、前記ユーザが、前記移動体から離間した外部の第2位置であって、前記第1位置よりも該移動体に近い第2位置にいるときに受信された第2の認証要因に基づき、前記ユーザを認証する段階と、

前記ウェアラブル用品にて、前記移動体により実施されるべき移動体機能を表す前記ユーザからの第1入力を受信する段階と、

前記ユーザが予備認証かつ認証されているなら、前記ウェアラブル用品にて、前記移動体機能を実施する制御信号を生成する段階と、

を有する、移動体を操作する方法。

【請求項 1 7】

前記移動体機能は、遠隔制御機能、運転者得点機能、緊急モード機能、ナビゲーション機能、オーディオもしくはビデオ機能、クライメート調節機能、または、インターネット・アクセス機能の内の一つである、請求項 1 6 に記載の方法。

【請求項 1 8】

前記遠隔制御機能は、前記移動体のロック解除、ロック、フラッシュライト投入、フラッシュライト切断、警笛鳴動、始動、停止、電源投入、または、電源切断の内の一つである、請求項 1 7 に記載の方法。